

■日時・場所

- ・平成26年6月13日（金）13：30～15：30
- ・精華町役場 5階 501会議室

■内容

1. 開会

2. あいさつ

【事務局】精華町男女共同参画審議会は昨年11月に設立をし、第1回目の審議会である。今年度は精華町の第2次男女共同参画計画の策定についての審議が中心となってくる。平成17年度から男女共同参画計画の10年間の精華町の歩みを振り返り、進捗状況の把握と分析を行い、課題の整理を行いたい。次期計画には10年間での課題と、国や府の動き、時代の流れの中で新たに見えてきた課題について整備する。精華町における男女共同参画社会の実現に向けた指標を、新たに設定する計画を着実に実行していける様に考慮する。精華町が目指す男女共同参画社会として、一人一人が尊重され、社会・地域・家庭・職場と様々な場所でそれぞれの能力や個性を十分に発揮しながら、担っていくことができる社会の実現に向けて、委員の皆様からそれぞれの専門分野について、経験や識見に基づいた多様なご意見を賜り、本町の男女共同参画社会を進めていきたい。よろしく願います。

3. 新審議会委員紹介

交代による新委員2名の紹介

4. 諮問

【事務局】精華町男女共同参画推進条例の規定に基づき、諮問する。  
諮問書朗読

5. 議事

【片上会長】審議会成立の確認と報告。

【事務局】（配布資料の確認）

(1) 男女共同参画社会に向けた精華町の現状について

- ・精華町の男女共同参画の現状と取り組みについて（指標の達成）

【事務局】（資料説明）

(2) 第2次精華町男女共同参画計画策定にむけて

- ・精華町男女共同参画計画の概要について
- ・住民意識調査の結果について
- ・策定スケジュールについて

【事務局】（資料説明）

- 【吉井副会長】精華町男女共同参画計画の概要についての資料3で、策定の基本的な考え方についての矢印の意味は？
- 【事務局】資料3については、考え方の流れに沿って矢印を入れている。
- 【片上会長】例えば社会的背景の部分で、あけぼのプランから矢印が出ています。矢印の意味を合わせて欲しい。
- 【島田委員】報告書について、実態調査を基に課題を出していくとあるが、回答率は低い。計画を策定するにあたり、回答率の低さをどのようにとらえるか。またアンケートの設問で、優遇されているか、されていないかという回答が難しいと思う。これ以外に何か説明をして調査をしたのか。
- 【事務局】79ページからついている調査票これを郵送にて調査している。
- 【島田委員】人によって優遇されているか、されていないかは変わってしまう。地域活動で考えると、女性の参加が少ない、男性が女性を対等なパートナーとして見ていないなど、地域活動にも自治会長がいるので、その地域によっても違い様々な判断がある。優遇されている、されていないというのはそれぞれの捉え方があると思う。
- 【吉井副会長】意識調査は、回答をする人の感覚によって大きく異なる、感覚で答えていただくものだ。回答者が無作為抽出されているので気になる部分だが、地域はある程度考慮はされているのか。
- 【事務局】無作為ではあるが、地域・年齢・性別が均等になるように抽出をしている。
- 【吉井副会長】相関がされているのであれば、全体の傾向を把握はできる。郵送によるアンケートの場合は、30%の回収率が平均値である。無作為であると、有効なのかという意見は当然だが、地域などが偏らない様になっているという記載が正確である。
- 【前西委員】平成24年度の（男女共同参画推進）委員会では、地域の人口比と年齢、性別を地域的に分けた中で無作為に抽出と決まった中でアンケートが行われており、その結果が今回の結果だと聞いている。
- 【吉井副会長】報告の部分で、その記載がないと誤解を与えてしまう。
- 【島田委員】それよりも数値が低いことが気になった。しかし30%は十分であるという見解の方もいます。私のように住民を代表して出席している立場から言えば無作為というのは、地域や年齢などが考慮されていることはわからない。ただ、これが計画を作るための基本的な材料として取り扱うことについて考えると疑問があった。
- また、予算があって初めて様々な事業ができ、計画を策定することができる。精華町の予算で男女共同参画費は約400万円だったと思うが、その中でコンサルタント会社に支払う金額が60%位だと思う。審議会委員も報酬を受けている。ここで議論することは、精華町に合った男女共同参画を進めていくことに繋げる必要がある。私はこの審議会が男女共同参画そのものだと思っている。
- 先ほど啓発も大事という話の中にも、男女共同参画社会とありました。参加社会と参画社会の理解が十分進んでいない。男女共同参画計画に限らず啓発は大事であるので、徹底して行って欲しい。精華町の中で一番大きな企業は精華町役場になるので率先して男女共同参画社会を進めて欲しい。管理職になりたくないという女性も多く、難し

い面もあり女性の管理職への登用は大きな課題だ。精華町の中心となる住民にとっては一番大きなサービス機関となっているので、課題として取り組んでもらいたい。また、そのようなことを計画にも取り込んでもらいたい。

【片上会長】回収率の30%が多いか少ないかについては、過去の事例から見ると30%はひとつの基準と我々は見ている、ご了承いただければと考える。

【前西委員】この審議会は、以前（男女共同参画推進）委員会として組織されており、委員会の時には各部署の出来高などを確認した中でやっていました。当時もらった各部、各課のできている部分、できていない部分などが記された資料を可能であれば、新審議委員にこの審議会の経緯や今まで取り組み内容がわかる資料を提供したらよい。先任の方たちがやってきた事が実を結ばなければ意味がない。長い間やってきたことをみんなで情報を共有できたらよい。

【片上会長】今までは推進委員会だったが、条例もでき審議会となった。議会などもご存じなので予算の話も出ると思うが、お互いが持っている知識を共有できればよい。

【事務局】資料について、これまでの取り組みや流れを、初めて審議会に参加する委員にも把握できる様な資料を準備する。

【島田委員】審議会の条例や議事録を含め、過去の資料をいただき、説明を受けている。審議会は町長の諮問機関という中で、議題にある基本的な考え方について質問や発言をしている。私は男女共同参画社会のスタートは少子化にあると思っている。少子化をどのようにしていくかという話の中で出てきているのが男女共同参画社会についてである。精華町だけの話ではないが、婦人会の組織が弱体化していることは寂しいことだと思う。婦人会（女性の会）の会長が本日はご欠席されている。この様な場所に参加して発言してもらうことが、男女共同参画社会のひとつの基本だと思う。

【片上会長】ご指摘のように、本日は参加委員が少ない。委員13人ということ考えると10人以上の参加が望ましい。

【島田委員】これは事務局の日程調整が大きな努力目標である。

【片上会長】年度の始めだったので、事務局も日にちの設定には苦慮されたことはご理解いただきたい。

【事務局】資料2の進捗状況と後期計画の指標の見方について再度説明します。こちらの指標は計画の後期施策と連動しており、後期施策の計画に指標がある。その前に基本方針の記載があり、基本方針1は、男女の人権を尊重するという内容で、施策はどのようなことがあるのかなど、具体的な取り組みや取り組み部署を記載してある。そこは指標と連動をしており、様々な取り組みがある中で数値化できるものを指標として抜き出してまとめたものが、進捗状況調査結果である。資料は、平成25年度だけではなく、平成22年度からの実績を示している。進捗状況調査のまとめには担当部署の記載がないが、計画と連動して見ると、担当部署がわかるようになっている。2つの資料を見比べる必要があるが、それにより、どの部署のどの取り組みができていて、また、達成できているかどうかを見ることができる。数値化できるものだけを取り上げているので、どのような会議を何回開催したかまでの資料はそこにはないが、担当部署を含め計画と合わせて見ていただくと把握ができるので、ご確認いただきたい。

- 【山下委員】事務局中心に説明があったが、やはり人数が少ないと思います。また丁寧な報告があったが、20代や30代の意見が反映されているのかどうか気になった。どちらかと言うと40代後半の方の意見が反映されているのではないかと感ずる。それらを含めて見えるような領域もあれば、かなり丁寧に考えていかないといけない分野もあり、我々も丁寧にやっていく必要があると思います。これからは啓発と学習が大切になっていく。また、ワーキンググループは各部から出ているとのことだが、どの部になるのか。
- 【事務局】総務部、住民部、事業部、健康福祉環境部、教育部、上下水道部、消防本部の各部署から1、2名ずつ選出をし、事務局から1名が参加し合計13名。年代も20代から40代後半まで幅広く、男女比もほぼ半半である。

(3) 平成26年度事業計画について

- 【事務局】(資料説明)
- 【吉井副会長】進捗状況について、広報での啓発回数が平成25年度は2回となっているが少ないのではないかと。ミニ通信はカウントしないのか。
- 【事務局】基本方針の「メディアにおける男女の人権を尊重するという」方針で、主にメディアリテラシーに関する啓発を広報紙で何回行ったかを進捗状況についてはカウントしている。昨年度の3月と今年度の4月に1回ずつ啓発を行ったため、実績値として今年度は1回となり、少し目標値に近づく。
- 【吉井副会長】これだけ(ミニ通信を)広報紙に掲載していることが数値に表れないことがもったいない。
- 【事務局】計画策定当時町では、広報紙以外にチラシを折り込みして配るという手法をとっていたが、現在は広報紙に記事として掲載する方向であり、紙を配布するという啓発の手法は減っている。指標の見直しをする時に、広報紙での啓発回数も考慮してゆく。
- 【片上会長】特に無ければこれで議事を終了する。

6. 質疑応答

7. 次回以降の会議開催日程について

平成26年8月1日(金) 午後13:30から 開催

8. 閉会